

# デザイン総合実習Ⅱ(コンテンツデザインコース)

必修

開講年次：3年次前期

科目区分：実習

単 位：2単位

講義時間：60時間

■**科目のねらい**：コンテンツデザインの発想法や企画法を身につけ、かつ作品制作技術、プレゼンテーション能力を発展させるため、コンテンツデザイン制作課題、および企画課題を行う。制作課題では、レイアウト研究を行い、ポスター広告などの平面構成作品を制作し、プレゼンテーションを実施する。企画課題では、IT機器を活用した札幌の新規コンテンツ企画を通して、対象とする“もの・こと”に関する情報収集、調査分析、立案、企画書作成、プレゼンテーションなどを行い、企画立案・文書作成能力を実践的に身につける。また、身の回りの生活環境におけるデジタルメディアを活用した事例について知見を得、これを生かした企画法を身につける。

■**到達目標**：①構成要素を明快で美しくレイアウトできる構成力を身につける。②多数のデザイン案を発想し、最適なものを選別できる能力を身につける。③速やかにデザイン展開し、作品に仕上げられること。④コンテンツ企画に関する情報収集、調査分析が的確にできること。⑤実現可能性の高い企画立案ができ、明確な文章で企画書を記述できること。⑥課題の発見、実験の実施、結果の分析、および報告ができること。

■**担当教員**：【○は科目責任者】

◎城間 祥之・齋藤 利明・松永 康佑

■**授業計画・内容**：

第1回	ガイダンス、レイアウト研究1(レイアウトフォーマット)	第8回	札幌市内商業施設、観光情報施設の現地調査、情報収集
第2回	レイアウト研究2(構成エレメントと配置)	第9回	情報分析、立案、企画概要/実施計画の草案
第3回	デザイン発想1(ポスターアイデア調査)	第10回	新規コンテンツ企画のプレゼンテーション/講評会
第4回	デザイン発想2(ポスター制作)	第11回	メディアアート、デジタルコンテンツの事例紹介
第5回	デザイン発想3(ポスター制作)	第12回	デジタルコンテンツの調査報告・企画(グループ)
第6回	コンテンツを新規企画するとは? 企画の方法(対象物・事の調査、分析、収集方法)	第13回	制作1
第7回	IT機器を活用した新規コンテンツ企画課題の説明、コンテンツ企画事例紹介	第14回	制作2
		第15回	プレゼンテーション

■**教科書**：教科書は使わず、プリント資料を配布する。また、デジタル資料を適宜配信する。

■**参考文献**：適宜紹介する。

■**成績評価基準と方法**：課題(60%)、出席(20%)、授業態度(20%)

評価方法	到達目標		評価基準	評価割合(%)
	到達目標 デザイン発想： ①、②	到達目標 デザイン企画： ③、④		
定期試験				
小テスト・授業内レポート				
授業態度	○	○	◎積極的な姿勢	20
発表	○	○		
課題・作品	◎	◎	期限厳守(20%) 理解度(20%) 完成度(60%)	60
出席	◎	◎	◎2/3以上の出席 授業開始20分までを遅刻とする。 遅刻3回で欠席1回とみなす。	20 欠格条件
その他				

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：デザイン総合実習Ⅰ

■**その他(学生へのメッセージ・履修上の留意点)**：欠席時数が全体の1/3を超えた場合は単位認定しない。欠席時数が各担当教員の持ち時間数の1/3を超えた場合も単位認定しない。課題未提出の場合には単位が取得できないことがある。